



発行：編集人 佃月島新聞制作委員会 佐久間保人
編集室 〒103-0014中央区日本橋蛸殻町1-5-1-3F 佃ハートベルカンパニー内
電話：050-1746-8579 メール info@tsukutsuki.com HP tsukutsuki.com

新聞を応援いただいている企業サポーター 2020年度
「ハートベルカンパニー 中央区蛸殻町不動産」「ジャストリサーチ サービス 中央区新川 マーケティングリサーチ」「東京メンテナンス管理 中央区蛸殻町」「Cheers 港区社員教育・経営コンサルティング」「三井住友建設(株) 中央区佃」「リバーシティすずき整形外科 佃一丁目」「エコライフサービス 品川区」「FUJIKO 晴海ヨガ教室」「グローバルケア 葬儀社 佃三丁目」「ライブコーヒー 月島一丁目」「黒川英夫 佃 画家」「ドゥ・ダンク 枝川内装業」その他個人サポーターの方はホームページに掲載させていただきます。
後援をいただいている町会・自治会・団体
佃一丁目町会・佃二丁目5号棟自治会・佃リバーシティ自治会・コーシャタワー佃自治会・リバーシティ21.3号棟自治会・佃三丁目町会・月島二之部町会・東京築地ロータリークラブ 敬称略5月15日現

読者参加企画① 佃・月島から行く路線バスの旅

目指すは一日で佃・月島から西へ



都電が走っていた頃
地域の古い方は隅田川を「大川」清澄通りを「電車通り」と呼びます。編集長の育った葛西橋から深川の高校へは、29番38番の都電を乗り継ぎ通学しました。佃・月島の方は11番23番。1968年頃まであった都電41路線には1番から41番の番号が振られていたのです。11番は月島通8丁目（いまの勝どき駅前）から銀座・半蔵門を通って新宿へ、23番は門仲・両国・押上を通って柳島福神橋行きでした。廃止された都電のあとには都バスが通っていることが多いですが、から迎って行けそうです。

「佃月島から行く都バスの旅」取材記者募集
3名の方に応募いただきました。取材資格はシルバーパスをお持ちの方で皆さんOKです。目指すは一日で月島から八王子です。自粛も解除になった日曜、月島駅前バス停（旧新佃停留所）を出発です。
路線バスの旅ルール
シルバーパスが使えますが、都営地下鉄はNOです。そうですよね。大江戸線です。新宿まで一本です。便利なスマホの乗り換え案内も使用禁止です。都バス案内所でもらった「都内バス路線図」で八王子までのルートを探していきます。

参加者を紹介します
月島育ちの野口さん、アイマークタワー居住の安富さん、北海道から数年前に佃に転居された稲留さん。こんな奇妙な企画に参加いただきたい読者の皆さんです。それに都内に詳しいはずの江戸っ子編集長の4人となります。

八王子まで

まずは23番で勝どき
豊海水産埠頭行き「門33」9時13分発です。旧月島8丁目勝どき駅前に向かいます。歩いて15分はかかる距離ですが、シルバーパスの有効活用です。野口さんは遠回りしてもこのバスでどこまでも行っているように頼もしい存在です。



次は11番新宿を目指し
この書籍を使うのはルール違反ではないでしょう。旧月島8丁目勝どき駅前からの11番は新宿行でしたが、バス路線はありません。途中の四谷行まで。おっと危ない一時間に一本しかありません。「都03」四谷行は9時24分発です。ピッタリの待ち時間でした。四谷まで行けば新宿はもうすぐ、きつと新宿行きのバス路線もあるはず。この調子ならランチは中野ぐらいいかな。

「跳ね橋だから、線路も架線も両脇に上がるようになってるの。その時は道路のホコリが舞い上がってね」上の架線の処理はどうしていたのでしょうか。跳ね上がる時間は決められていましたから、遅刻はしないようでした。この11番路線は昭和43（1968）年に廃線になりましたが、当時は交通渋滞が大変だったそうです。

勝鬨橋・銀座・日比谷・半蔵門・麹町・四谷

月島に住んでいてもこの都電に乗れば大商業地や官公庁、ビジネス街、そして文教地区まで簡単に往復できる。でも大難関は「勝鬨橋」です。当時この電車で通学・通勤をしていた月島7丁目生まれの佐藤光子さんにお聞きしました。



はとバス気分を満喫
地下鉄で行けば新宿までは約30分ですが、外の風景を楽しむことが出来ません。日本で一番にぎやかな繁華街や緑豊かな皇居近辺、半蔵門からお屋敷町麹町、多くの学校がある四谷まで、すっきり「はとバス」気分です。
四谷に着きました
9時52分、月島から約40分間で着いてしまいました。路線図によると「宿75」新宿駅西口行があるはず。野口さんが交番で聞きました。「新宿駅に行くなら電車ですぐだよ」わかってますよ！なんと昼間に6本しかありません。次のバスは10時41分発、50分も待ち時間があります。歩いて40分ぐらいで新宿まで行けますよね。どうしましよう！

画像是実業之日本社「懐かしの都電」から次号8月号は新宿から中央沿線を西に向かいます。5月号で募集をいたしました「佃月島おんなひとり酒」の取材が進んでいます。なんと一人ではなく5人の応募が…。

読者の皆様のお便りお待ちしております

今月号には読者からのお便りが4件紹介されています。まだあるんですよ。「月島図書館で新聞を見ました」「佃に居住して何年にもなりますが、今までこの新聞が目止まらなかつたのは不徳です」バックナンバーを希望。その他にも読者からのご提案で記事になっていくものもたくさんあります。



ぜひ皆様のお便りをお待ちしています。

7月16日木曜 R65月島カフェに「るかなび」が!

聖路加健康ナビスポツト「るかなび」

聖路加記事が続きます。皆さんの健康づくりにご活用ください。

平日9時半〜17時 【健康チェック】(測定料・相談料 500円)

脂肪量、握力の測定。看護師が説明・助言

【健康相談】(相談料800円〜千円) 大学教員・看護師が健康や闘病に関する困りごとの対処法を一緒に見つけるお手伝い



【資料閲覧】

聖路加病院の前身は佃島西町が発祥の地だった③完結

明治34年佃島西町 聖アンデレ診療所

前号までの①②に続く築地居留地研究会亡き川崎晴朗氏の研究ノートからの連載記事です。

あとは他の医師に任せ、船松町(現在の湊三丁目)の船着場へ行き、船頭が櫓で操る渡し舟で聖アンデレ診療所に通った。日曜日を除く毎日のことであつた。佃島は隅田川にある中州で、船松町とを結ぶ「佃の渡し」は江戸時代からあつた。医師はこれを利用していたのである。毎日のように手漕ぎの舟から隅田川や川岸の風景を眺めていた。彼はこの風景にどのような感慨を抱いたことであろうか。また筆者は、船頭や他の船客と交わす会話は、診療所や病院での患者たちとの問答と同様、



院を発足させたのである。医師は病院に午前中勤務し、

彼にとって日本語の習得の一つの機会であつたのかも知れないな、と思う。「佃の渡し」での医師の姿が想像出来ます。リバーシティ21にお住まいであつた川崎氏がご健在であつたらぜひ講演会を開催したかつたところで。最後に川崎氏はこんな提案をしています。「記念碑を建立したらどうか」診療所写真の情報をお寄せいただいた繁澤さんも同様の意見です。クレストタワー横に、「トイスラー医師創設・聖アンデレ診療所跡」川崎氏の研究ノートのつくつきホームページに詳しく掲載しております。

の夏、紀伊半島の南東部三重県熊鷹(現・紀宝町)から生後36日目に授かっ



ハートベルな話

「紀州犬・白龍」

先日まで私の傍らにはいつもオスの紀州犬がいました。そんなハクが2月17日にこの世を去りました。思い返せば17年前

て以来、犬と人というより私にとっては相棒でした。苦しい時には彼の飄々とした平常心に救われ、何気ない普段の日常にこそ生きる喜びがあることを教えて貰ったような気がします。

この世を去る二日前から食べなくなり、飲まなくなり、断食をしてから静かに息を引き取った野武士のような最後でした。

M sugawara

好美の幕末中央区⑩ 会津藩上屋敷跡「和田倉噴水公園」を紹介したいところですがこちらは千代田区のため断念。気を取り直して前回から続いている会津藩関係の場所として、愛しの容保様の近侍会津藩士浅羽寛兵衛茂実の長男、浅羽忠之助をご紹介いたします。容保が徳川慶喜と共に江戸に逃げてしまつた時、共々江戸へ向い、そして戊辰戦争には軍

事奉行添役として従軍し、戊辰戦争後、日光東照宮の宮司となつた容保に從つて日光東照宮に出仕したという、ずーっと容保様と共にいた方です。その方の甥っ子元会津藩士井口慎次郎は思案橋(現東京都中央区日本橋小網町)で起きた思案橋事件にかかわつていたので!というところで今月は前置きが長くなつてしまつたため、次回には思案橋事件となります!

Global Care Tokyo 編集長の葬儀体験 実父母、義父母、義兄、実兄など、実際に葬儀社との打合せを行いました。やはり頼りにするのは葬儀社の方でした。変な言い方ですが慣れていきますから。義兄が亡くなつた時は、年末でした。ちょうどお見舞いに行つた日に病態が悪化しなくなりました。甥姪、義姉は葬儀は初めてですし、私が手配をするこつになりました。



病院からの搬送や遺体の安置、通夜や葬儀の手配、火葬場など相談員の方が頼もしかったのを記憶しています。さて自分ごとになった場合のことを考えると、地域の葬儀社に事前に相談しておきたいと思つた。佃3-3-33 電話0120-4812-24(相談は24時間360日受付)

街角植物観察日記34
佃2丁目菅野さん

佃一丁目に立ち並ぶ住宅の屋根の上にイチヨウの大木がブワッと頭を出しています。その樹は細い路地を入った所に、周辺とは異次元の世界に迷い込んだ様な空間の、佃天台地蔵尊という、黒い石盤に線描で彫られたお地藏さまのお堂の中に、立っています。



お堂は、イチヨウが地面に接する所も、上部の屋根に接する所も、ぎりぎりのところで接触しな

いように、丁寧な仕事を施しています。いつ頃に建築されたものか、次はいつ頃改築されるのか、木の成長に合わせて部分改造するのに興味は尽きません。

さらに、そのイチヨウの樹皮の不思議さといったら...。普通、樹皮は風雨にさらされ、表皮はギュッと締まっています。この木は、触れると樹皮とは思えない柔らかさで、成長に伴い亀裂する表皮の模様は、街路樹と比べると。パターンが大きく、まるで空へ駆け上る龍の腹に触れたら、かくやと思わせる感があります。ここまで大きく育ったこの樹は、いったい何歳なのでしょう？

シニアのためー講座 ZOOMでテレワーク
ホームページ・FBのリニューアルを考えています。10万円給付金を有意義に使おうと思っています。



発注先はクラウドワークスというインターネットで公募し業務を発注するサイトです。

地域コミュニティ紙にふさわしいデザインで、Fessの知識が少なく、デザインが貧弱である。トップページのメニュー

が二段になっている。各ページともただデータを貼り付けただけになっている。FBの改装も指導を得たい。オンライン会議で画面を共有しながら指導をお願いしたい。

5人の方から応募があり、そのうちの一人恵比寿に住む25歳フリーランスのタカシ様に依頼をしました。時間給3千円ぐらいでお願いができました。

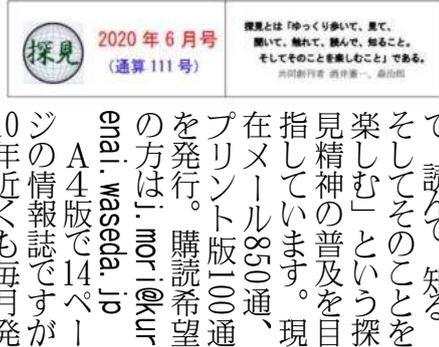
二人の打合せならZOOMが便利です。3人以上ですと40分間の制限がありますが、二人なら無制限です。祖父と孫の様な編集長とタカシさん、画面を共有して作業が始まりました。



初対面の方と顔を合わせる見ながら一緒にお仕事です。今後はこんな形のテレワークが当たり前になるのですかね。ZOOMでいろいろ広がりそうです。6月中旬から徐々に改装していきます。二人の成果にご期待ください。

情報誌「探見」に佃月島新聞が紹介されました
「探見」は2020年4月に、朝日新聞社で15歳以上の先輩後輩関係だった酒井憲一氏と森治郎氏が、創刊した月刊メールマガジン(無料)です。「ゆっくり歩いて、見て、聞いて、読んで、知る。そしてそのことを楽しむこと」である。

「許されれば」触って、読んで、知る。そしてそのことを楽しむ」という探見精神の普及を目指しています。現在メール850通、プリント版100通を発行。購読希望の方はj.mori@minai.waseda.jp A4版で14ページの情報誌ですが10年近くも毎月発行を続けていることはすごいことですね。



最近月島に転居されてきたF様のメールです。「月島の情報誌ってあるのかな?とネットで検索して、佃月島新聞を知りました。佃月島新聞のバックナンバーをホームページから拝見し、地域の歴史からお店の情報、身近なお花や野鳥など、とても楽しく読ませて頂いております」

F様には個人サポーターにご登録していただき、毎月宅配いたします。7月号原稿の段階では6月28日の開催が終わっていません。皆さんに喜んでいただき無事に終了していただいのですが...。月島3丁目渡辺鉄夫様から月島演芸館に関するメールを頂戴しました。



「いつも佃月島新聞を拝見しています。私は40年前、月島に引っ越したのですが、実は、私の祖父は月島で演芸場や建屋を営み、亡母はその演芸場の手伝い舞台脇にある題目?(めくりのことでしょうか)書きをさせられたといっています。亡き母(4年前に100歳でお亡くなりになりました)は確かに筆文字は上手かったです。又、芝居もあり、芸人は商店街を練り歩き宣伝。芝居後は客席に旅芸人は雑魚寝。そこへひいきの客も流れ込んだといっています」

演芸館当日には渡辺様にはご来場いただくことができませんが、この演芸館ミーキング(7月末に完成)で楽しんでいただくことにしました。このミーを頒布しています。一枚千五百円、編集部まで。

復活 佃月島演芸館 盛会で終了しました?
7月号原稿の段階では6月28日の開催が終わっていません。皆さんに喜んでいただき無事に終了していただいのですが...。月島3丁目渡辺鉄夫様から月島演芸館に関するメールを頂戴しました。



この「つくつきかぞく」は(株)ハートベルカンパニーの提供で掲載しています。
中央区不動産物件情報を無料で差上げます
中央区日本橋蛸殻町1-5-1
TEL03-6661-2828 HPは hbc22.com

佃月島住民掲示板

「売ります」「教えます」「教えて」「仲間求む」などを掲載していきます

掲示板への投稿は？

お電話やメールでお寄せください。営業関係以外は無料で掲載いたします。お気軽にお申込みください。

佃一丁目ちよっぺい閉店

佃一丁目にお住まいの繁澤さんから緊急情報でした。「いまママ仲間からLINEがあり、佃一丁目の駄菓子屋ちよっぺえ(山本商店)が5月末で閉店とのことでした。いま切り盛りされてる『おばさん』は三代目で、何十年にも渡る佃の子供たちの懐かしい思い出の一端を担っているはずのお店です。何か歴史を取材できないうかが？」



ちよっぺと遅かったです。取材には

間に合いませんでした。でも「佃・月島百景」で山本さんの詳しいインタビューがあったはずですよ。

tsukishimai100.comより



山本商店は百年続く店舗、最初は「よるす屋」だったとか。動画の最後に「もうそろそろかな。でも」とありました。

シルバー川柳・中央カリーレッククラブは6月は休止中です。再開しましたらご連絡していきます。

佃月島新聞を応援ください 会員サポーター募集

非営利の佃月島新聞は、サポーター制度で運営しています。



年会費 個人一口2千円 新聞を郵送や宅配などで毎月確実にお届けします。

法人一口2万円 年一回企業様のPR紹介記事を掲載します。

振込先 ゆうちよ銀行 名義ツクダツキシマシンブンセイサクイインカイ 総合口座0668-4970471 他金融機関からは

ゆうちょ銀行 コード9900 店番068 普通497047 0六八店(ゼロロクハチ店)

新しいサポーター様です。佃鎌田様 月島船場様 江東区ドウ・タンク様 新宿区森様

4月からの2020年度会員として登録させていただきます。

佃月島新聞の配布について

登録制を検討しています。ご購入をご希望の方は、右記のサポーター登録か無料会員登録にお申込みください。

フアミール月島フランスイートタワーにお住まいのY様から配布お手伝いのお申し入れを頂きました。大変助かります。

ありがとうございます。リバーシティ10号棟、コー

シャタワー、月島ホームズ、ザ・クレストタワーにお住まいの方、マンションのポラン

ティア配布をお手伝いいただけないでしょうか。

読者記者からのLINE

以前「編集長のダイエツト作戦」を執筆いただいた管理栄養士山崎さんからLINEをいただきました。



「最近、カルガモか？近くで見れます！ベビーちゃんにも会えるみたいですよ。7羽いるみたいですよ！」

野鳥図鑑を執筆いただいている藤田明さんのブログ月島・佃あたり探検隊 <https://ameblo.jp/yaka-shi-ta> このカルガモが掲載されています。ウミネコと母鳥とのスクープ動画もあり。野鳥愛好家にお勧めのページです。

中央区 区民メディアリポーターの会

東京ベイネット「中央区発 こちらみんなの情報局」は、毎日3回放送。YouTubeでは「中央区区民メディアリポーターの会」と検索。情報が局7月の放送予定作品をご案内いたします。



「開かれたお寺 築地本願寺」(アンコール作品) 近年、人気を博する築地本願寺。プームの仕掛け人、安永雄玄宗務長にお話をうかがいました。

佃月島で観察できる 野鳥図鑑 連載27 「コチドリ」



このコチドリも稀に見られるようになりました。目の周りの黄色いアイリングがチャームポイントの小さな鳥。南方から日本にやってきて、こちらで繁殖する夏鳥(コチドリ類)です。潮が引いたときを見計らって、ゴカイなどを食べにきます。チョコチョコと早足で歩いて獲物をとらえ、またチョコチョコと歩く独特のスタイル。これが「千鳥足」の語源かもしれません。

このコラムは毎年2月に開催する親子野鳥観察会の運営メンバー藤田さんに執筆いただいています。バックナンバーはつきIP連載企画集で

マーカーティングリサーチ 基礎講座

ちょっと一般には馴染みのない「マーカーティングリサーチ 市場調査」についてわかりやすく解説いたします。

覆面調査とは、飲食店などのサービス改善のため、調査員が一般のお客さんのふりをして店に行き(実際に覆面を被るわけではありませぬ笑)、店舗やサービスのチェックするリサーチのことです。ミステリーショッピングともいいます。

清掃状況やスタッフの接客態度、提供された商品の品質など、言葉は悪いですが抜き打ちテストみたいなものです。

あなたがどこかのお店に行った時、隣に鋭い目つきであたりを見回している人がいたら、覆面調査員かもしれませんよ。



Just-Research サーチサービスマーケティング(株) 正社員募集 未経験者歓迎

esearch.co.jp 中央区新川2の20-7 TOKOHJAL 9FL 03-62603-677

このような企業PR広告を掲載しませんか。広告のお問合せは編集部まで。